

青パト活動を応援する情報発信マガジン

# ビッグ★ブルー

第7号

平成26年6月30日発行  
発行：山形県警察本部

## 安全・安心な地域づくりを目指す町内巡回キャラバン ～ 舟形町防犯協会 ～

舟形町は、最上郡の南端に位置する東西に細長い形の町です。奥羽山脈、出羽丘陵の山麓に囲まれ、町土の7割は山林で、最上川に注ぐ小国川と松橋川を中心に、5地区34町からなる集落や耕地が広がっています。町の木は「えんじゅ」、魚は「アユ」、鳥は「きじばと」、花は「こぶし」で、平成4年に「西ノ前遺跡」で発掘された日本最大級の土偶「縄文の女神」は、平成24年に国宝指定された町の宝です。また、小国川は、鮎釣りのメッカとして全国的に有名で、鮎釣りシーズン（7～9月）になると、毎年全国から多数の釣り客が訪れます。



### 鮎釣り客の駐車車両を車上ねらいの被害から守るために

青パトを活用した防犯活動は、車上ねらい防犯パトロール（鮎釣り解禁日、各鮎釣り大会時、若鮎祭等町行事など）、山・川での事故防止活動、子供や女性の犯罪被害防止広報活動など、年間を通して実施しており、活動の幅を徐々に広げていることから、活動回数が年々増えている状況にあります。特に、鮎釣りシーズン（7～9月）には、小国川流域に釣り客の車が多数駐車され、車内の貴重品を狙う車上ねらい事件が発生する可能性が高まることから、安心して鮎釣りが楽しめるように、積極的なパトロールを実施しています。また、県内で振り込め詐欺や訪問販売詐欺等の被害が後を絶たない中、これら被害の未然防止活動の一環として、駐在所、防犯委員、



青パト指導者が連携し、青パトとパトカーが連なって町内を巡回パトロールする「町内巡回キャラバン」を実施しています。

このほか、当協会では、年金支給日に町内の金融機関（ATM）において、特に高齢者を対象に、振り込め詐欺の被害防止や交通事故防止に向けた広報活動等も積極的に実施しています。

今後も、青パトを活用した防犯活動を積極的に実施するとともに、町民一人ひとりが防犯や交通安全に関する知識や判断力を身につけてもらえるように広報活動を行い、安全・安心な舟形町づくりに一層務めて参りたいと思います。

（文～舟形町役場総務課危機管理室 主幹 生駒 雄司）

【編集後記】最近、認知症高齢者の行方不明事案について数多く報道されておりますが、山形県でも昨年1年間で100件以上発生しており、早期に発見するためには地域を見守る「目」が必要です。パトロール活動の際には、子供だけでなく、高齢者にも注意を払っていただきますようお願いいたします。

【山形県内の青パト情勢】  
（平成26年5月末現在）  
団体数：96団体3,609名  
青パト台数：1,234台